

感染症における感染拡大防止対策について

所内で感染が拡大することのないよう、以下の点につきましてご理解・ご協力をお願いいたします。

〈感染症が発生した、または疑われる状況が発生した場合の対応〉

- 別室にて感染者の隔離（引率者の付き添いをお願いします。）
 - ⇒ その後、速やかに**医療機関で受診**をしてください。
感染症と診断された場合、直ちに連絡をお願いします。
 - ※別室の利用、医療機関で受診の際は事前に所員にお知らせください。
- 排泄物や嘔吐物の適切な処理
 - ・嘔吐した場合、各階リネンコーナーの棚、または**食堂手洗い場下**にある**嘔吐物処理セット**を使って適切な処理をお願いします。
同時に、事務所に連絡してください。
 - ⇒ 廃棄物のごみステーションの燃えるゴミのところにお願いします
- 宿泊室の換気をしてください。
- 感染者以外の者への**うがい・手洗い・マスク着用**の徹底をお願いします。

感染が疑われる状況

【ノロウイルス】

胃がムカムカするような症状の後、突然の嘔吐があり、その後腹痛や下痢を起こす。ただし、嘔吐のみ、もしくは下痢のみの場合もあり、おおむね低年齢層では嘔吐型をとる傾向にある。発熱は37度程度の微熱で、発熱のない症例も多くみられる。

【インフルエンザウイルス・新型コロナウイルス】

くしゃみ、のどの痛み、咳、頭痛、そして悪寒を伴って急に発熱する。身体のあちこちの筋肉や関節の痛み、全身倦怠感が強く、高熱になることが多い。解熱後も咳や鼻汁が続くことが少なくない。